



【直方市の大型事業】

直方市は、現在4つの大型事業を予定しており、進捗状況は以下の通りです。

《現在着手している事業》

- ①中泉中央市営住宅の建設
4棟189戸を計画。現在1棟目が完成。H35年度竣工予定。
- ②直方中央公園の整備
総事業費約6億円、平成30年度工事完了予定です。
- ③し尿処理場の建て替え
総事業費約36億円、平成32年度完成予定です。
- ④小野牟田・野添線の新設
総事業費約12億円、街路事業から道路事業へ変更となり、工事完了時期は未定です。
- ⑤小中学校の施設整備事業
トイレ水洗化及び防災機能強化等を進めています。

《今後、実施予定の事業》

- ①小中学校の冷暖房整備事業
H30年度から着手し、H32年度までに整備を終える予定です。
- ②公営住宅建替事業
財政状況をみながら、老朽化の進んでいる住宅の集約化を図り、建て替えを検討していきます。
- ③直方市庁舎の改修事業
築25年が経過し、随所に老朽化が見られます。
平成25年度に作成した庁舎長寿命化計画に基づき順次改修を進めています。
- ④芝原ポンプ場整備事業
築49年が経過し老朽化が著しいため、ポンプ場の改築や導排水路等の整備計画の見直しを検討し中心市街地の雨水対策を行います。

《今後、調査や検討が必要である事業》

- ①筑豊電鉄の延伸
筑豊電鉄延伸事業の可能性を調査しています。
- ②植木メカトロビジネスタウン事業
政策全体における構想の位置づけを整理し検討していきます。
- ③小中一貫校の建設事業
国県補助金や市の財政状況等を勘案し、検討を進めていきます。



会議録検索 システムのご案内

直方市議会の会議録をどなたでも検索、閲覧することができます。



直方市議会・議場で交わされた発言の一言一句を会議録としてご覧頂けます。

詳しくは で

やすなが^{ひろ ゆき}浩之 市議会議員事務所

〒822-0022 直方市古知1丁目6番1号
tel.0949-28-8087 fax.0949-28-8020

で



直方市出身。地元のために全力疾走！

直方市議会議員
やすなが浩之^{ひろ ゆき}

市政レポート

平成29年1月号《政策進捗報告》

所属委員会及び会派

特別委員会『議会運営委員会』

議会を円滑に運営していくために、定例会や臨時会の運営方針やその他議会に関することについて協議し、意見調整を行う場として設置されている委員会です。副委員長として、議会運営の適宜改善に努めてまいります。

常任委員会『教育民生常任委員会』

市民部及び教育委員会の所管する事項について、担当する事務の調査や、議案・請願・陳情などの審査を行います。また、委員会より以下の委員に選出されています。

1. 直方市国民健康保険運営協議会委員
2. 直方市民生委員推薦会委員
3. 直方市高齢者保健福祉協議会委員

会派『静燃会』

高齢者福祉・地域活性化・教育問題と政策に共通項の多い「三根議員」と会派を結成しています。



福祉

《今後の高齢者福祉サービス》

平成 29 年 3 月から「直方市介護予防・日常生活支援総合事業」が開始され、介護予防事業の中の訪問介護及び通所介護サービスが、直方市の事業として運営されることとなりました。

国から地方自治体に権限移譲される背景として介護サービスに係る財源不足が懸念される状況であり、地方自治体独自のサービス内容構築に関しては、実際にサービスを受けられる方に、不足のないサービスを受給できるような制度設計が必要不可欠です。また、今後も進んでいくであろう介護人材不足に対して、サービスの供給といった観点からも配慮を行っていく必要があります。

総合事業の中において、従来の介護予防サービスを緩和したサービスを「サービスA」と称し、今後の介護事業者による介護予防サービスはこのサービスAを中心に提供される予定です。しかしながら、サービスAを含む多様なサービス導入に向けての制度設計は、現在、検討を行っている段階に留まっています。

議会の一般質問において、本当に適切なサービスは何かを検討する機会を出来る限り早く設定して頂けるように度重なる要望を行っており、今後の動向に注視するとともに、決定次第、皆様へ報告差し上げます。



地域づくり

《中心市街地について》

直方の中心市街地では、旧サンリブ直方店の移転や旧日の出ビルの解体、そして、西鉄バスセンターの解体着工と様々な変化が起こっており、常日頃より皆様からご意見ご要望を頂いています。

平成 29 年 6 月定例会から 12 月定例会まで連続して一般質問を行い、直方市の考えを伺うとともに議論を重ねました。「とにかくまちの中を歩き、人の呼吸を自分の肌で感じるように職員へ伝えている」との市長答弁にも接しましたが、まだまだ店舗・商店への訪問状況において十分な進捗は感じられません。各種協議会等も行われている様子ですが、早期に中心市街地の方々の想いのこもった明確な方針をお聞かせ頂く事を市長及び市の商工観光課へ要望しております。

私自身も、今まで同様に様々な機会を捉え、商店街を始めとした中心市街地の方々に訪問し、中心市街地の方々がどのような「まちづくり」を望んでおられるのか、行政がどのように協力していくべきなのかを追求し、直方市へ提案することで皆様の暮らしの源となる生活インフラ整備を継続して訴えてまいります。



教育

《中学校完全給食の開始》

保護者の要望として最も高かった中学校完全給食が、いよいよ平成 29 年 2 学期より開始しました。詳細の内容は、市政レポート Vol.1 の記事をご参照ください。

《成人式の開催日変更》

平成 28 年 6 月議会において成人式開催日の変更要望を行い、昨年度(平成 29 年 1 月 8 日開催)より、成人の前日の日曜日へと開催日変更となりました。

遠方から参加される新成人の方々に始めとする多数の方々から、喜びの声を頂きました。本年度は、平成 30 年 1 月 7 日の開催予定となっています。

《小中学校教育施設の維持補修》

他市における不慮の事故を受け、平成 29 年 2 月に小中学校の遊具施設一斉点検が実施されました。結果、修理や撤去が必要な施設も散見され、随時対応を進めている状況です。平成 29 年 12 月定例会の教育民生常任委員会において、遊具だけではなく校舎などの施設を含めた計画的な維持補修計画をしっかりと行い実施するように要望致しました。



防災

《消防団応援の店事業の開始》

近年、災害は大規模化・多様化し、少子高齢化等に伴う地域社会の弱体化など、社会経済情勢も大きく変化しています。

そのような中、自主防災組織を始めとする地域住民が、消防本部・消防署や消防団で構成する消防機関との緊密な連携を持ち、一体となって取り組んでいくことが必要とされています。特に消防団は、それぞれの地域でリーダーシップをとり、自主防災組織や住民に対する訓練指導、防災知識の普及啓発を行うことが期待されています。

しかしながら、団員の高齢化に伴い退団者が増加する一方で、若年層人口の減少、農村・中山間地域の人口減少、就業者における被雇用者が占める割合の増加など、以前から消防団の入団対象となっていた層から入団者を確保することが難しくなっている現状も危惧されています。

その状況を改善し市民生活の安心を得るため、平成 27 年 6 月定例会から継続して提案して参りました「消防団応援の店事業」が、平成 29 年 2 月 1 日に実施要綱が作成され開始となりました。本事業は、多くの事業所や各種店舗等の皆様に「応援の店」として登録いただくことにより、直方市が一体となって消防団を応援する体制をつくり、事業所等の皆様や地域の活性化に繋げ、「地域防災力の向上」を目的としています。

